

いつか花咲く日のために

平成23年4月25日
広島市立中島小学校
校長だより 第1号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、
この題をつけました。



「やっぱり5年生」から

「さすが6年生」に

平成23年4月、本校で一番人数が少ない—43名—にもかかわらず歌を歌っても、返事をしても大きな声を響かせていた5年生が、最上級生に進級しました。

この学年の子どもたちは、とても「働き者」です。

卒業証書授与式をはじめ、立て続けに行った大きな式の準備は、人数が少ないにもかかわらず、手際良く時間内に完了させました。

「バトンは確かに受け継がれる」

上の言葉は平成22年度最終号に掲載したものです。卒業した71名の子どもたちが手渡したバトンは、確実に今年度の6年生に受け継がれていると感ずることができ、働きぶりでした。

また、下の写真は、13日(水)から始まった1年生の給食準備に精を出す6年生の様子です。



一生懸命に準備する6年生、お行儀良く待つ1年生。

「人数が一番少ないけれど、働き者の6年生」の姿はきっと1年生の心に残ることでしょう。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

平成 23 年度「なかじま 五七五」スタートの号です。

まずは、平成 23 年 3 月 11 日(平成 22 年度)以降に届けられた作品から紹介します。

4 月半ばというのにいまだに肌寒い日があります。3 月はもっと寒かった……。

ゆきだるま だんだんとけて きえていく 下村 めぐ

朝通学路を歩いていると、中学生になった中島小学校の先輩が元気に登校していますよ。

そつぎょうせい いろんなおもいで わすれずに 西山 真未

1 年間、長いようで実は短い。

一年も もうすぐおわり さようなら 福本 彩乃

「さようなら」の後には「こんにちは」、「別れ」の後には「出会い」が待っています。ここからは、平成 23 年度になってからの作品です。

進級の喜びを素直に表現しています。

うれしいな もうすぐ二年 たのしみだ 谷口 綾

お父さんが、親子一緒に弾む心を届けてくださいました。

ドライブ中 親子でくしゃみ 春到来！！ 西山 雅敏

暖かい春の到来に心躍る様子が「五七五」に変身です。

春春は さくらまんかい お花みだ 柴田 妃菜
春が来た ウグイスホケキョ うれしいな 丸子 莉佳
春がきた 三年生を がんばるぞ 坂本 優祐

では、ここで、先生たちの「今時五七五」をお楽しみください。

読み聞かせ どきどきするほど 見つめられ 橋原 里美
おこれない おびえる顔は 見たくない 岡本 卓憲
口ぱくぱく 鯉のぼりのように 歌ってる 内藤 富江
手を振れば まっすぐこちらに かけり来る 久松ひとみ